

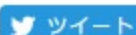
来春の大卒求人倍率、1.78倍 採用増え6年連続上昇

2017年4月26日17時42分



シェア

9



ツイート

list



BIブックマーク

1



メール



印刷

ブンデスリーガを
ライブ&オンデマンド



月額1,750円(税抜)

詳しくはこちら

[PR]

2018年3月卒業予定の大学生・大学院生に対する民間企業の求人倍率（学生1人に対する求人数）は推計で1.78倍で、前年より0.04ポイント上昇した。リクルートホールディングスが26日発表した。上昇は6年連続で、業績改善や人手不足を背景に企業が採用を増やそうとしているという。

求人総数は前年比2.8%増の75万5千人。業種別では人手不足感の強い建設業や流通業で上昇幅が大きかった。民間企業への就職を希望する学生は前年並みの42

万3千人だった。

求人倍率を企業の規模別にみると、従業員5千人以上の企業は0.39倍だった一方、300人未満の企業は6.45倍で、差は前年より広がった。同社の戸田淳仁・主任アナリストは「学生優位の『売り手市場』が続き、大企業を志望する学生が増えている」という。

調査は2～3月に実施。4509社と学生1622人の回答から推計した。